

(3) アンケート集計結果

調査対象：参加者（84人）

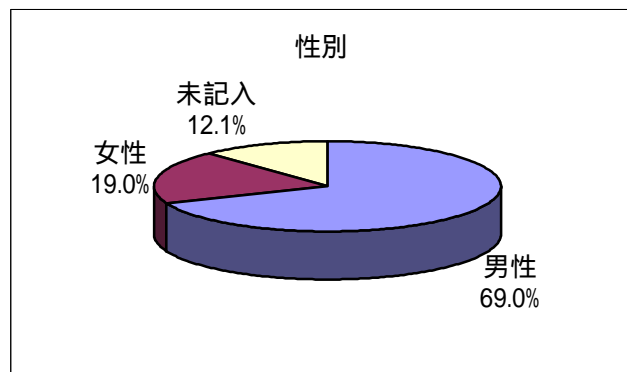
調査方法：講演会終了後、会場にて回収

有効回答数：58件 回答率：69.0%

1. 参加者の属性について

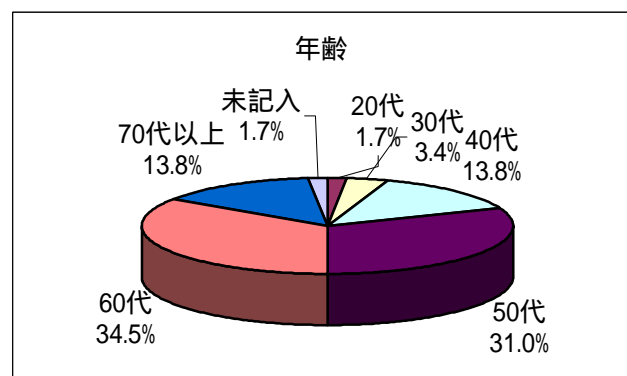
性別

	性別	人数	%
1	男性	40	69.0%
2	女性	11	19.0%
3	未記入	7	12.1%
	総計	58	100.0%



年齢

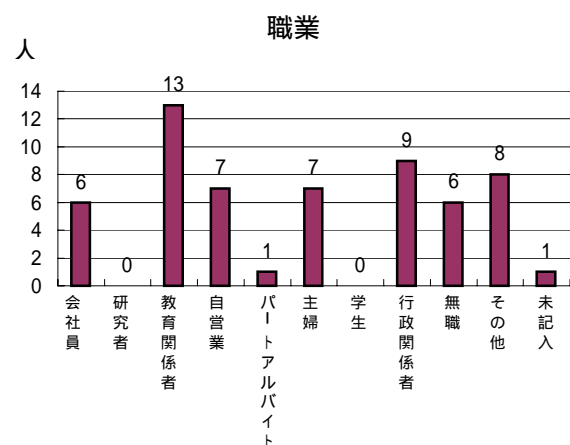
	回答	人数	%
1	10代	0	0.0%
2	20代	1	1.7%
3	30代	2	3.4%
4	40代	8	13.8%
5	50代	18	31.0%
6	60代	20	34.5%
7	70代以上	8	13.8%
8	未記入	1	1.7%
	総計	58	100.0%



2. 参加者の属性について

職業

	回答	人数	%
1	会社員	6	10.3%
2	研究者	0	0.0%
3	教育関係者	13	22.4%
4	自営業	7	12.1%
5	パート、アルバイト	1	1.7%
6	主婦	7	12.1%
7	学生	0	0.0%
8	行政関係者	9	15.5%
9	無職	6	10.3%
10	その他	8	13.8%
11	未記入	1	1.7%
	総計	58	100.0%

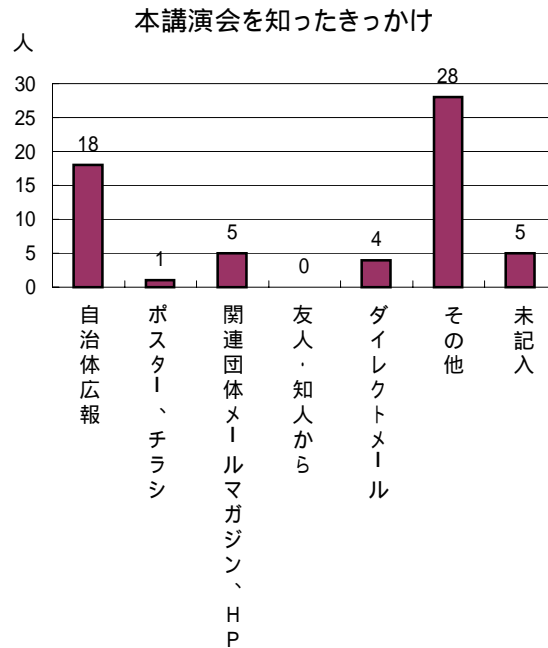


その他回答

その他	人数
団体職員	2
シルバー人材センター	1
僧侶	1

3.本講演会を知ったきっかけについて、お答えください(複数回答可)

	回答	人数	%
1	自治体広報	18	29.5%
2	ポスター、チラシ	1	1.6%
3	関連団体メールマガジンホームページ	5	8.2%
4	友人・知人から	0	0.0%
5	ダイレクトメール	4	6.6%
6	その他	28	45.9%
7	未記入	5	8.2%
	計	61	100.0%

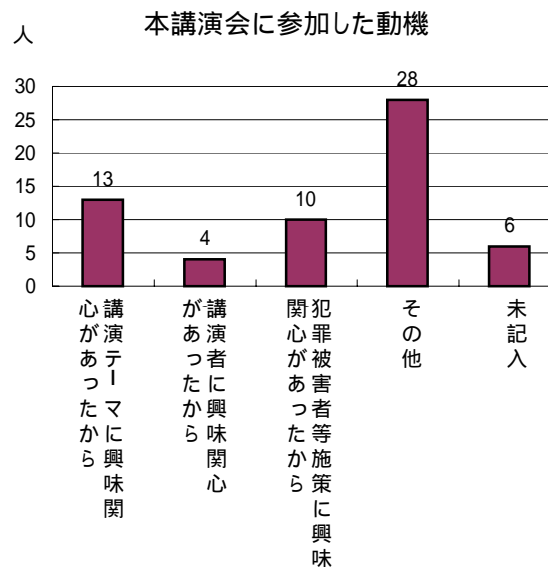


その他回答

回答	人数
安全サミット参加依頼文書	3
関連団体ハガキ通知・依頼	3
行政からの案内	3
教育委員会からの通知	2
会合で	1
関連行事	1
職務の関係にて	1
地域の大会で	1
主催者からの案内	1
本会委員代理	1
安全サミット参加依頼文書	1
防犯自治会長より	1
子供安全リーダー	1

4.本講演会に参加した動機についてお答えください。(複数回答可)

	回答	人数	%
1	講演テーマに興味関心があったから	13	21.3%
2	講演者に興味関心があったから	4	6.6%
3	犯罪被害者等施策に興味関心があったから	10	16.4%
4	その他	28	45.9%
5	未記入	6	9.8%
	計	61	100.0%



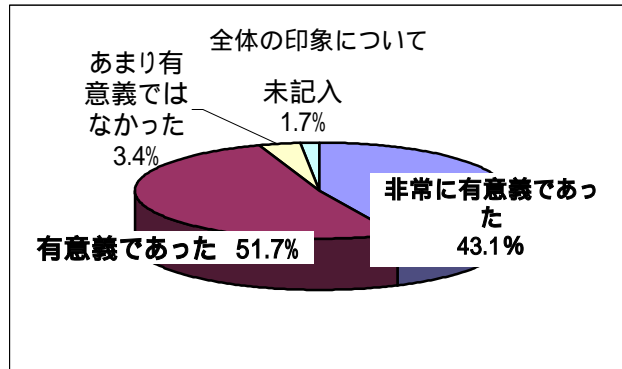
その他回答

回答
安全サミットに組み入れてあったから
仕事上
子供安全リーダーであるから
出席依頼があったから
来賓
関連団体の通知により
ボランティア活動参加にあたっての知識を得るため

5.本講演会についてお答えください。

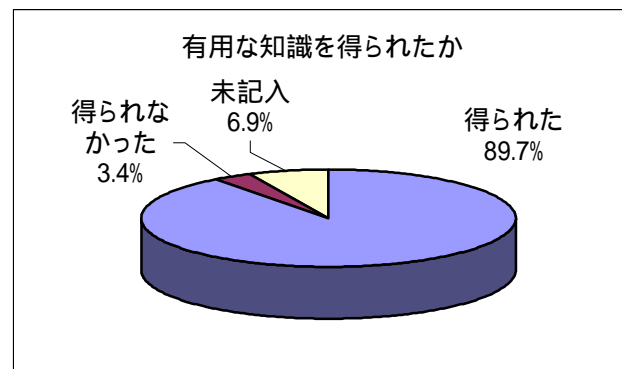
(1)全体の印象について

	回答	人数	%
1	非常に有意義であった	25	43.1%
2	有意義であった	30	51.7%
3	あまり有意義ではなかった	2	3.4%
4	未記入	1	1.7%
総計		58	100.0%



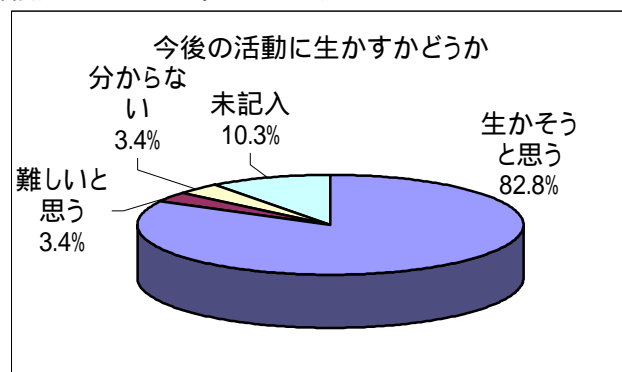
(2)本講演会で有用な知識が得られましたか？

	回答	人数	%
1	得られた	52	89.7%
2	得られなかった	2	3.4%
3	未記入	4	6.9%
総計		58	100.0%



(3)(2)で有用な知識が得られたとお答えの方へ、
本講演で得られた知識を今後の仕事や地域での活動などに生かそうと思いますか？

	回答	人数	%
1	生かそうと思う	48	82.8%
2	難しいと思う	2	3.4%
3	分からない	2	3.4%
4	未記入	6	10.3%
総計		58	100.0%



6. 犯罪被害者等について

(1)犯罪被害者の現状について、どう思いますか？

回答

- ・犯罪が起こるたびに、二度と起こらないようにということが言われることですが、その痛み、命の尊さ、命の大切さが反省として生かれていないことを実感させられました。
- ・今まで、不勉強で、被害者家族の方の生の声、とても貴重なお話を聞かせてもらい、身近かに考えるべき、考え続けるべきことだと思いました。
- ・講演者が述べられたように、被害者の人権が守られない。事件の状況が分からないなど、理不尽な事が多いように思う。
- ・犯罪件数が減っているそうだが、まだまだだ。
- ・加害者が保護され被害者のみが苦しまねばならぬ事実が新聞に載ることがよくある。少年院はちょっと入って出てきてあと平気で生活し、又事件を起こす。
- ・少年法の厳罰化を一層おこなうべき。(イギリスのように)
- ・被害者へのケアについてはもっと細部わたり、考慮すべきであると思っている。
- ・犯罪が多発し簡単に人が殺される世の中に憤りを覚える。加害者が未成年だと名前がふせられるが、被害者だと家族まで公表されてしまう。
- ・一井さんの訴えておられる通りの現状があります。少しでも犯罪が少なくなるように努力したい。
- ・何も保護されることがない。
- ・犯罪加害者と比べると様々なところの取あつかいが低いように思います。
- ・亡くなった子は戻らない。生は偶然、死は必然とはいえ、出会う縁によって大変厳しい。
- ・加害者の現状は被害者には知らせるべきと思う。被害者の肉体的回復はあっても精神(心)の被害は一生つきまとうものと思う。そうした点から加害者はその重さを一生背負うべきと思う。
- ・子供の犯罪は全て親の責任。親が口やかましくするのでなく、日頃の生活でよい見本を見せられる親になるよう努力が必要と思います。
- ・被害者家族への救済が欠けているのでは。
- ・被害者が今まで置き去りにされてきた事に残念です。被害者の方の話を直接聞いたのは初めてです。
- ・今後少しでも、被害者の権利が認められれば良いと思う。
- ・身近な被害者ではありませんが、事件としては身近に感じました。学校教育に大きな欠落を感じました。被害者家族の人権や保護がないことに大きな疑問を持ちました。
- ・毎日のように犯罪がニュース・新聞で報道されているが、それが当たり前のように、ただかわいそうやと思う程度に感じている自分が怖い。
- ・加害者の人権が守られて、被害者の人権が守られない現状は確かにあると思う。人権に対する考え方を再考するべきだと思う。
- ・大変悲しいことである
- ・確かに、被害者は被害損の部分が多いと思う。
- ・子供など弱者が巻き込まれる事件、無差別な殺人など誰もが安心できない状況は考慮すべき事態である。
- ・いつも思うことであるが、加害者の人権は守られるが被害者は守られないのはおかしい。
- ・犯罪被害者がおきざりにされ、加害者の人権ばかりが守られているように思う。最近では、凶悪な犯罪が多くまた、低年齢化になってきており、被害者家族の人権こそ、守られなければいけないと思います。
- ・生々しく現状を知ることが出来た。少年犯罪とはいえこの現状でいいのか憤りをともに今後考えていく必要を感じる。
- ・確かに被害者対策については、特に少年犯罪について遅れているように思う。加害者に手厚い保護になっているように感じる。

(2) (1)に対して、どのようにすればよいと思いますか？

回答

- ・事件を通してや、又、様々な学習会宗教活動の場で各人が考える場づくりをしていくことも大切だと思われ、各自の自覚・学びが大事であると思います。
- ・無関心でなく、関心を持てるような、PR活動を重ねていくべきだと思います。
- ・思慮なく行った事が一生を台無しにしてしまう犯罪。今日のような話を少年たちに聞かせることも大事。
- ・郡民みんなで取締りを強化を。
- ・少年の保護観察処分であとを厳しく見極めていく必要あり。
- ・少年法の改正(死刑や懲役を通用すべき)
- ・真実を報道することはわかりませんが、マスコミの行きすぎ取材には顔をしかめることがある。
- ・人権のあり方について一考を要す。
- ・いろんな会合に出席する。
- ・厳罰化を、命を大切さを教える。
- ・子育てをどのようにしたらよいかをもっと啓発し支援の事業をおこしていく、命の大切さを訴える。
- ・安全に対して、地域ぐるみで取り組んでいかなければならない。
- ・大変難しいと思います。何が難しいのか、明確に出来るのか一言ではかけません。
- ・幼小中高 保護者に対する子育て研修(親のしつけと学校教育・発達障害への正しい理解と対応)
- ・教職者への研修
- ・世の中の改革・政治の中には犯罪を犯した人がある。確かに更生したということもある。(犯罪を犯した者はいつまでも浮かばれないのかと問われることもあると思うが)若いものの考えの中には、悪いことしても偉い人になれるのだという考えが蔓延するのではないかと思う。そういった点をもっと考えるべき。
- ・加害者低年齢化に伴い厳しい法の改訂を必要と考える。
- ・先生の活動に支援協力をし輪を広げていきたい。
- ・そういった認識を多くの人に知ってもらう必要があると思う。
- ・日頃、私の考えは子供の教育は家庭教育が最も重要と考えました。しかし今回の講演を聞いて学校教育の大きい問題を強く感じた。又警察も頼れないのですか。
- ・一人一人の自覚が必要である。
- ・「人格」についての考え方をもっと主体的に考える必要がある。
- ・早期に対応し被害者が安心できる社会を関係で創る。
- ・公的な支援がよい。
- ・地域や家庭での地道な取り組みが必要。・行政・警察・地域の連携
- ・子供はいないからとか安易に考えるのではなく、自分のこととして一人が真剣に考えていきたい。
- ・報道のあり方を考えていくべきである。加害者の現状を被害者やその家族にも知らせるべきである。
- ・もっと被害者に加害者側の情報を与えてやりたい。
- ・司法のあり方を問いなおす機会を持つべき。
- ・加害者の教育を施設内で充実してほしいです。
- ・法律の強化。
- ・被害者の痛みをもっと知る努力が大事だ。
- ・親になり誰もが、同じ悩みをもつと思うが、かわいいかわいいだけでは駄目だと思う。地域、家族、学校での教育は大切です。
- ・死刑制度の是非について世論は分かれているが、終身刑を設置していくべきだ。
- ・防犯組織の強化
- ・地域ぐるみの活動

(3) 今後も同様な講演会を開催した方がよいと思いますか？

回答
<ul style="list-style-type: none">・開催して欲しいと思います。(24名)・強く願います。(7名)・子どもたちを加害者にも被害者にもさせない為に必要。・事実を事実として話してもらえることが極めて大切・身近な話で聞かせてもらい真実味があってよいと思う・必ず聞きに行きます。・今回のような実際犯罪に遭われた人の話をきくのは初めてなので、このような形で、小・中・高の現場で生徒に訴えて欲しい。・同じくらいの年齢の子供を持つ親にとっては、子どもを犯罪から守るという意味からとても有意義であると思います。・多くの人に聞いてもらう機会が大切と思う。・このような辛い経験した人の声はとても大切な感じがします。どんな事・小さい命でも思いやりがもてる様になるのではと思います。・テレビ放映を望む。

7 その他のご意見、ご感想について、下欄にご自由にお書き下さい

回答

- ・講師の話にもありましたが、事件を起こした者の権利を主張しすぎる面があり、起こした事件の内容をもっと考える必要がある。(殺人者は、殺人をしたことは事実であり、そのひとが正常であったかどうかは別のこととして考えるべきである。)
- ・関係者のみならず、全地域民が出席して関心を持ってもらう施策が必要と思う。
- ・人の思いやりや学校では教えられないボランティア等の参加することを義務化すべきだと思う。
- ・政治の貧困が今の不安定な社会や不信・不安の社会を生み出している。政治が国民のものになっていない。一井さんの活動そのものが政治を動かしていると思う。
- ・一井様(講演者)ありがとうございました。今後も是非続けて下さい。お体にお気をつけ下さい。
- ・夜遅くまで働いておられる両親の子供に加害者が多いと思います。もっと温かく見守ってあげることが第一です。
- ・地域の連帯感、子供達を見守り声かけ等が出来ることから考えます。
- ・今回、犯罪被害者の家族の方の話を聞け、TVの向こうの話としか思っていなかった事を身近に感じ、大変生々しく“現実の事”として認識できた。「他人事」であったが、一歩進んでもし、わが身に考えることができ、有意義であったと思う。
- ・5～4回/週 子供安全リーダーとして学童の登校時見守りをしています。おはようございますと挨拶しても返事のおはようございますがありません。挨拶・マナーは家庭の躰から始まります。マナー、道徳を学んでいない家庭の子供が学校や地域で迷惑がかかる事件を起こすことにつながると感じております。今、私が接している学童の保護者は私の娘たちの年代です。孫持つ親として娘達にいろいろ教えていきたいです。
- ・参加者の少ない自治会等でも開催すべきである。
- ・少年加害者が本当に更生できる様なシステムが必要。・自転車盗難・万引き等も立派な犯罪であることを分からせてあげたい。
- ・いつもならニュースで聞くばかりでその後どうなったかは忘れがちですが本当の生の声を聞くことが出来て良かったです。
- ・実話を聞いて身体が震えるような感動を受けました。
- ・一井さん(講演者)は、私が想像できないほどの辛く悲しい体験をされているのに、今後の被害者・加害者を出さないためにご尽力されていて感動しました。